

# GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

4

Vol. 4 No.4



口絵

地質系博物館の紹介—韓国地質資源研究院 地質博物館— 田中 剛 97~100

浅層地下の大型定方位試料採取法のツールとしての改良型 ACE ライナー：  
液状化 – 流動化調査工事への応用

重野聖之・鈴木喜之・福間 哲・風岡 修・吉田 剛・七山 太 101~106

地質地盤情報の活用促進と法整備

栗本史雄 107~113

日本地質学の軌跡 5 高峰譲吉と高山甚太郎：地質調査所からの広がり

鈴木 理 114~118

地質で語る百名山 第2回 羊蹄山

太田英順 119~121

書籍紹介

新・関東の地盤—増補地盤情報データベースと地盤モデル付— (2014年版)

吉川敏之 122~123

書籍紹介

地球全史スーパー年表

七山 太 124~125

● ニュースレター

第23回GSJシンポジウム「日本列島の長期的地質変動の予測に向けた取り組みと今後の課題—数十万年の過去を解明し、将来を予測する技術・知見・モデル—」開催報告

戸崎裕貴 126~127

2014年度第2四半期(7月~9月)地質相談報告

下川浩一 127~128

表紙説明

赤熱岩塊と火山灰を放出する阿蘇中岳

阿蘇中岳は、約27万年前以降4回の大規模火砕流噴火で形成された阿蘇カルデラの中央火口丘の一つである。標高1506mの阿蘇中岳山頂西側には南北約1kmの火口群があり、そのうち北端の第一火口の噴火活動が、2014年11月25日から活発となり、火山灰を放出する連続噴煙や、赤熱した岩塊を間欠的に吹き上げるストロンボリ式噴火を行っている。阿蘇中岳でのストロンボリ式噴火は1992年以来である。この写真は、火口の約3km西の草千里ヶ浜展望所で2014年12月26日の夜に撮影され、噴火の様子が、背景のオリオン座とともに写っている。(写真・文：宮城磯治<sup>1)</sup>・星住英夫<sup>1)</sup> 1) 産総研 活断層・火山研究部門)

Cover Page

A night view of the Aso Nakadake eruption against backdrop of the Orion from Kusa-senri view point on 26th December 2014. (Photograph and caption by Isoji Miyagi and Hideo Hoshizumi).